

単元目標 (育成したい資質・能力)	【書くこと】イ：説得力のある文章を書くために、論理の展開や表現の仕方を工夫できる。	二つの側面 A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	三つのプロセス ①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する
----------------------	---	---	--

① 単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点 ④	③ 「読み解く力」を育成するための手立て	② 「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿 A：文章・グラフ・図から B：やりとりから	
① 本単元の学習内容を知り、見通しをもつ。 □実生活とのつながりを意識できるようにする。 ○既習事項を確認する。 □前回の批評文よりもよい批評文を書くには何が必要か考え、自分なりの目標を設定し、ゴールのイメージをもつことができるようにする。 ② 教科書教材を使って、レビューを書くために必要な情報を集める視点を学ぶ。 ○レビューを書くのに必要な情報は何か、モデル文を見ながら考える。 □視点を意識しながら、集めた情報を分析、整理できるプリントを使ってまとめ直すことができるようにする。 ③ 自分の選んだ広告について、レビューを書くために必要な情報を集める。 ○グループでの学習を通して情報を共有し、考えを広げる。 ④ モデル文などから、批評文の論理の展開や言葉の使い方を学ぶ。 ○説得力をもたせるための構成や表現の工夫に気付く。 ⑤ レビューを書く。 ○下書きをした後にグループでの交流を設定し、「説得力のある文章になっているか」という視点で話し合う。 ⑥ レビューを読み合い、説得力のある文章の書き方について考えを広めたり深めたりする。単元での学びを振り返る。	○課題への意欲をもてるようにする 導入時に、実生活とのつながりを考えたり、前回の自分の批評文を上回るという目標を示したりして、課題への意欲を高めることができるようにする。 ○他者とのやりとりを通して、理解を深め、創造できるようにする。 学習の中に何度も周囲の人と交流する機会を設定することで、ものの見方・考え方の違いを知り、それぞれがさらに深い理解へつながるようにする。何をどのように話し合うのかを明確にすることで、深まりのある話し合いにする。 ○課題を選択できるようにする。 自分で選ぶことによって、課題に対する意識を高めることができるようにする。また、複数の課題を準備し、交流させることで、ものの見方・考え方が多角的になることをねらう。	① 文章や資料を理解・評価しながら読む 広告が伝えようとしていることから話題を見つけ、レビューを書く観点に沿った情報を集めたり、モデルの批評文から論理の展開や表現の工夫を捉えたりすることができる。	①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る 他者が、レビューに書く話題や、内容として書く情報、レビューの論理の展開として何を捉えたのかを理解することができる。
		②様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる 広告に適した話題を決めたり、選んだ広告のよさや特性を伝えるための根拠を整理したり、説得力のあるレビューになるように論理の展開を選んだりすることができる。	②今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する レビューに書く話題や、内容として書く情報、レビューの論理の展開などを、なぜそのように捉えたのか、他者の理由や意図を理解することができる。
		③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく 選んだ広告のよさや特性について、広告の内容と関連付けて話題を決め、観点に沿って情報を集め、説得力のあるレビューになるように、論理の展開や表現の工夫をすることができる。	③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく レビューの話題やよさや特性の根拠、論理の展開など、よりよいレビューにできるように、自分に生かせる情報を捉え、考えを深めることができる。